

心の国境をなくそう！ Free your heart of borders!

Saga
Prefecture
International
Relations
Association



佐賀県国際交流協会年報

2023年度事業



公益財団法人 佐賀県国際交流協会

公益財団法人 佐賀県国際交流協会の概要



S
aga
P
refecture
I
nternational
R
elations
A
ssociation

SPIRAのシンボルマーク
「手をつなぎ、楽しくコ
ミュニケーションする人
と人。緑は佐賀平野、赤
はお互いの熱意、青は世
界に広がる海のイメージ
です。」

公益財団法人佐賀県国際交流協会は、世界に開かれた佐賀づくりをめざして、県、市町村、民間企業、県民の方々の協力により、県民総参加の国際交流を推進するための中核組織として1990年（平成2年）2月7日に設立され、2013年（平成25年）4月1日に公益財団法人となりました。

佐賀県には、2024年（令和6年）1月1日時点で9,603人の外国人が生活しており、2016年（平成28年）には全国1位の増加率を記録するなど、ここ数年で大きく増加しています。

このような中で、国籍や民族などの異なる人々がお互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていく、いわゆる「多文化共生」の地域づくりが求められています。

また近年、全国的に自然災害が多発する中、地域の自助力、地域住民の連携が見直されています。佐賀県が国籍を問わず万人にとって安全で住みよい場所となるよう、当協会も多文化共生の地域づくりに全力をあげてまいります。様々なセミナーやイベント等を通し、在住外国人と県民が同じ地域構成員として、協働・協力体制を築いていけるよう、取り組んでいきたいと思っています。

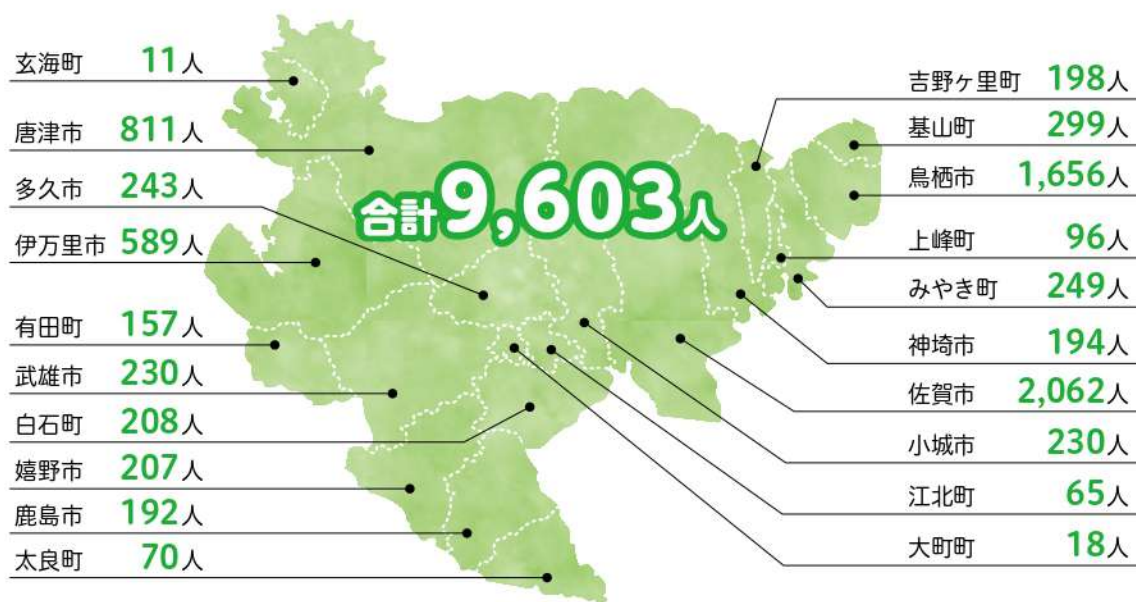
これからも民間団体等と連携・協働し、日本語教室や医療通訳サポーターの派遣など、多文化共生事業を一層進めていきたいと考えていますので、皆様の温かいご協力・ご支援をお願いいたします。

「SPIRAの3つの基本方針」

1. 多文化共生の地域づくりの推進
2. グローバル人材の育成及び国際交流団体等の活性化
3. 多様な主体との連携・協働

佐賀県内外国人住民の数（市町別）

※2024年1月1日現在佐賀県国際課調べ



役員名簿

(2024年3月末日)

評議員 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
評議員	三島 伸雄	国立大学法人佐賀大学 副学長
評議員	今村 盛史	佐賀県商工会連合会 専務理事
評議員	西岡 剛志	佐賀県中小企業団体中央会 専務理事
評議員	古賀 孝博	佐賀県農業協同組合中央会 専務理事
評議員	山崎 日出男	一般社団法人佐賀県建設業協会 専務理事
評議員	草場 義樹	一般社団法人佐賀県労働者福祉協議会 理事長
評議員	高島 忠平	公益財団法人佐賀県芸術文化協会 理事長
評議員	山口 七重	佐賀県地域婦人連絡協議会 会長
評議員	白濱 百合子	佐賀生活文化交流会 代表
評議員	西岡 豊	佐賀県高等学校PTA連合会 会長
評議員	前島 梅子	日本語ネットワーク佐賀 代表
評議員	内田 修平	佐賀県地域交流部国際課 課長

理事 [12名]

役職名	氏名	団体名・職名
理事長	黒岩 春地	公益財団法人佐賀県国際交流協会 事務局長
副理事長	山下 宗人	佐賀県地域交流部 部長
副理事長	横尾 俊彦	佐賀県市長会 理事
副理事長	伊東 健吾	佐賀県町村会 理事
副理事長	古園 裕久	佐賀県商工会議所連合会 専務理事
理事	嘉村 直樹	佐賀県教育委員会事務局 副教育長
理事	川崎 和正	佐賀玄海漁業協同組合 組合長
理事	江打 正敏	佐賀ユネスコ協会 会長
理事	中尾 清一郎	株式会社 佐賀新聞社 社長
理事	吉村 俊造	株式会社 サガテレビ 会長
理事	中島 章夫	一般社団法人佐賀県観光連盟 専務理事
理事	廣瀬 伸恵	特定非営利活動法人地球市民の会 事務局次長

監事 [2名]

役職名	氏名	団体名・職名
監事	江副 元喜	佐賀県市長会 事務局長
監事	川久保 弘二郎	佐賀県商工会連合会 事務局次長

主な取り組み

A. コミュニケーション支援



在住外国人支援団体との連携により地域情報を多言語化およびやさしい日本語化し、行政・生活情報の提供を推進しています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（やさしい日本語版）
- ・日本語教室支援
- ・日本語スピーチコンテスト
- ・日本語ボランティア研修会



B. 生活支援



医療、保健、福祉、教育等様々な相談を受け、関係機関との連携により対応しています。また、災害に備え外国人を対象にした防災訓練や、災害多言語支援センターの運営準備にも力を入れています。

- ・在住外国人生活支援
 - 生活相談・専門家相談 ●健康相談 ●医療通訳
- ・子ども日本語学習サポーター等派遣
- ・佐賀県災害多言語支援センターの活動



C. 多文化共生の地域づくり



日本人も外国人も対等な暮らしやすいまちづくりを目指し、地域社会に対する多文化共生の意識啓発や、外国人住民の自立と地域社会への参画をサポートしています。

- ・国際交流・協力情報誌発行（日本人向け）
- ・地球発見隊出前講座（多文化共生理解出前講座、国際協力理解出前講座）
- ・World Café with CIRs
- ・ボランティア啓発・推進
- ・多文化共生等助成事業
- ・SPIRAさが国際フェスタ
- ・多文化共生情報発信事業（えびすFM）
- ・佐賀県国際交流プラザ運営管理事業

♡さが多文化共生センター



その他の事業

- ・インターンシップの受入
- ・国旗の貸出

SDGsとは？

SDGs（持続可能な開発目標）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind.）ことを誓っています。

多文化共生とは

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことを言います。

（出典：多文化共生の推進に関する研究会報告書）

事業年表

2023	4.26～2024.2.21	World Café with CIRs (全6回)
	5.19～2024.3.15	入管手続相談会 (全6回)
	6.2	(公財)佐賀県国際交流協会2023年度 第1回 理事会
	6.15	災害多言語支援センター設置訓練 (1回目)
	6.19	外国人のための体験型防災セミナー
	6.26	(公財)佐賀県国際交流協会2023年度 評議員会
	9.30～2.19	医療通訳初心者養成コース
	10.8	第8回 SPIRA 日本語スピーチコンテスト
	10.29	2023 SPIRA さが国際フェスタin神埼
	11.11	多文化共生セミナー アフリカ少年と考える多文化共生
	11.14	災害多言語支援センター設置訓練 (2回目)
	12.10	Sagan World Cup 2023 フットサル大会開催
	12.16	外国人のための無料健康相談
2024	1.20～2.27	日本語学習サポーター等養成講座
	3.28	(公財)佐賀県国際交流協会2023年度 第2回 理事会



A コミュニケーション支援

国際交流・協力情報誌発行（外国人向け）



佐賀での生活に役立つ情報や、県・当協会及び県内の民間国際交流団体等のイベントの広報を記載し、県内の各市町に送付、設置協力いただき、情報の提供を行いました。

全カラー2ページ2,000部 年2回発行

配布先：当協会賛助会員、各市町、公民館、教育機関、公共施設、国際交流団体、教会、エスニック料理店等



情報収集・提供

インターネット・メールやホームページ等で情報提供を行いました。イベント情報などの更新を随時行い、常に新しい情報を提供できるよう整え、必要に応じて佐賀県発信の情報を多言語で配信しました。

また、Facebook、LINEを活用し、さまざまな多文化共生に関する情報や外国人住民に有益な情報を素早く届けることができました。



日本語教室支援



外国人住民のコミュニケーション支援、多文化共生の地域づくり、生活者支援を目的として、地域で活動している日本語指導のボランティアグループに対して会場費や教材費等の活動費の補助や広報協力等を行い、その運営を支援しました。

Webはこちら



県内の日本語教室

市町	グループ名	市町	グループ名
佐賀市	にほんごすいもく 水ようび	武雄市	たけお日本語教室
	にほんごすいもく 木ようび	鹿島市	かしま日本語教室
	どようび日本語in SAGA	小城市	おぎ日本語教室
	日本語ネットワーク佐賀	嬉野市	カフェこくさいじん
	国際コミュニケーションネットワーク かけはし	神埼市	神埼日本語教室
	外国人のための日本語サークル ラポール	吉野ヶ里町	meet up よしのが里
唐津市	唐津日本語教室	基山町	基山にほんごひろば きやまっち
	にほんご晴	みやき町	みやき町日本語ひろば ~ちかっとなにほんご~
鳥栖市	とすにほんごひろば ~とりんす~	有田町	日本語教室 in Arita
多久市	多久日本語教室	白石町	しろいし Wa!Wa!Wa!
伊万里市	日本語教室いまり		
	Awesome IMARI		

（2023年度補助金交付実績 11団体）

日本語ボランティア研修会



日本語ボランティア活動をしている方やこれからボランティアを始めたいと考えている方を対象とした講座を行うことで、今後の日本語教育の活動者につながる人材を育成するとともに、活動中のボランティアも共に教室のあり方・活動を考える場を提供することを目的とし実施しました。

今年度は子ども日本語サポーター養成講座と合同で複数回実施しました。

第1回（公開講座）

テーマ 外国人の伝えたいことに寄り添っていく聞く力とは
日時 2024年1月20日（土） 14：00～16：00
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 NPO多文化共生プロジェクト代表 深江 新太郎 氏
参加者数 24名



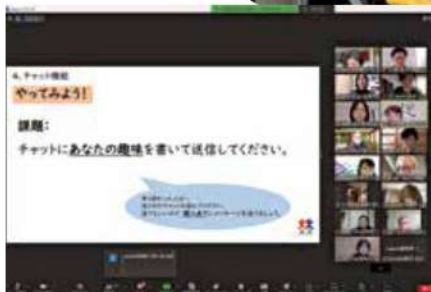
第2回

テーマ 佐賀県の日本語教室の現状、ボランティアとして活動するために知っておきたいポイント
日時 2024年1月24日（水） 13：00～15：00
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
参加者数 18名



第3回

テーマ いまさら聞けないZOOM使い方の基本
日時 2024年2月8日（木） 13：00～15：00
会場 zoom
講師 SPIRA職員
参加者数 15名



第8回 外国人による日本語スピーチコンテスト



佐賀市国際交流協会との共催により開催。青少年部門6名、成人部門14名の計20名の日本語学習者が日頃の成果を発表する貴重な機会であると同時に、佐賀県民と外国人住民の相互理解・交流が促進され、双方に新たな視点を与える機会となりました。

日時 2023年10月8日（日） 13：00～17：00
会場 エスプラッツホール
 （佐賀市文化交流プラザ交流センター内）



B 生活支援

在住外国人生活支援



生活相談・専門家相談

生活相談・専門家相談については「さが多文化共生センター」p.16をご覧ください。



健康相談

済生会唐津病院と連携し、健康相談会を12月に1回実施しました。今回は済生会唐津病院と開催場所である佐賀県国際交流プラザをオンラインでつなぎ、保健師、医療ソーシャルワーカーの方に相談対応していただきました。

＊7月にも健康相談会を開催予定でしたが大雨の影響で中止となりました。

健康相談

日 時 2023年12月16日(土) 10:00~12:00
相談者数 4名
開催地 佐賀市



医療通訳

外国人住民の医療面に関する支援として、「医療通訳サポーター」を保健・医療機関等(39箇所)へ延べ205件(うち英語182件、中国語13件、ベトナム語4件、ウクライナ語5件、インドネシア語1件)派遣しました。

また、医療機関に働きかけて、多言語通訳コールセンターの案内と一層の利用を促しました。

医療通訳サポーター初心者養成コース

日程 2023年9月30日(土)~2024年2月19日(月) (言語別全10回)

講座の内容・講師

初 回 公開講座: 「医療通訳制度が支える地域の未来」 港町診療所所長 沢田 貴志 氏
第2回 公開講座: 「通訳概論」 一般社団法人全国医療通訳者協会 代表: 森田 直美 氏
第3回 公開講座: 「ボランティア通訳活動が続けるために」 医療通訳者研究会 代表: 村松 紀子 氏
座 学: 「通訳者のための基礎的な医学知識」 なかしまクリニック院長 中島 弘治 氏
「行政の妊娠出産に係るサポート」 佐賀市健康福祉部健康づくり課 坂田 千草 氏
「通訳に入る前に」 佐賀県国際交流協会 本村 実枝子
「MSWの職務と医療制度の基礎知識」
佐賀県医療センター好生館 相談支援センター・社会福祉士 山口 可奈 氏
産科部長医師 室 雅巳 氏

言語別演習:

・英語 渡辺 育子 氏 ・中国語 北京・ニーハオ中国語センター 蔣晶 氏 ・ベトナム語 Bui Thi Thu Sang 氏

参加者(延べ人数) 公開講座 延べ103人 養成講座受講(英語)13名 (中国語)8名 (ベトナム語)3名



子ども日本語学習サポーター等派遣



県内の小・中学校に通う外国につながる持つ児童生徒及びその保護者、学校関係者を対象に、子ども学習支援サポーターを派遣しました。学校からの依頼に応じて、当協会のボランティア登録者からサポーターを選定し、県内の小・中学校で日本語指導や通訳としてご活躍いただきました。今年度は困窮者支援助成金により、こども園・高校への派遣も実施しました。

※2023年度からできるだけ早い段階での非常勤講師への切り替えを促進しました。



活動内容

- ①子ども日本語学習サポーター：児童生徒本人に対する日本語指導や学習のサポート
- ②子ども通訳・メンタルサポーター：児童生徒本人やその保護者と学校間での通訳・母語でのメンタルケア

2023年度 派遣実績

子ども日本語学習サポーター	31件（234時間）	小学校10校、中学校2校、高校3校
子ども通訳・メンタルサポーター	12件（23時間）	小学校2校、中学校6校、こども園4校

※こども園、高校への派遣は、困窮者支援助成金により実施。

子ども日本語学習サポーター養成講座

今年の講座は、p.7の日本語ボランティア研修会と併せて実施しました。

第1回（公開講座）

テーマ 外国人の伝えたいことに寄り添っていく聞く力とは
日時 2024年1月20日（土）14:00～16:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 NPO多文化共生プロジェクト代表 深江 新太郎 氏
参加者数 24名

第2回

テーマ 外国につながる子どもの現状と佐賀県のサポート体制
 外国につながる子どもが抱える課題とは
日時 2024年1月31日（水）10:00～12:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 県教育振興課指導主事 芦原 奈津子 氏
 久留米大学 外国語教育研究所 准教授
 ディヌーシャ・ランブクピティヤ 氏
参加者数 19名

第3回

テーマ 子どもの日本語学習支援の方法
日時 2024年2月14日（水）13:00～15:00
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”
 宮崎国際大学 准教授 早瀬 郁子 氏
参加者数 15名

第4回

テーマ 実践例から学ぶ日本語指導
日時 2024年2月27日（火）13:00～15:30
会場 佐賀商エビル7F 会議室D.E
講師 とよなかJSL 田中 薫 氏
参加者数 17名



災害対応



2023 災害対応と佐賀県災害多言語支援センターの活動



SPIRAでは、災害時に外国人住民向けに必要な情報をSNS等で多言語発信しています。

大規模災害の時は、県の国際課と共同で、佐賀県災害多言語支援センターを立ち上げ、24時間体制で必要な情報を発信します。

今年は、多言語支援センターとしての活動はありませんでしたが、年に2回(5月、11月に)支援センターの立ち上げ運営訓練を実施し、有事に備えています。

5月の訓練は、新規職員向けに多言語支援センターの概要説明と、立ち上げから翻訳までの流れの確認訓練、11月には避難所巡回の際の対応を含めた訓練を行いました。



外国人のための体験型防災セミナー

災害時、母国との災害の違いや、言葉の問題などから、災害時要支援者と言われる外国人。

SPIRAでは、外国人住民に日本で起こる災害について理解を深めてもらい、いざ災害が起こった時にも自分で自分の身を守り(自助)、適切な行動(避難等)に繋がられるよう、防災について学ぶ体験型のセミナーを開催しています。

防災セミナーでは、災害の基礎知識に加え、避難所や防災グッズについて学び、また消火器訓練や地震体験など、実際の体験を通じて防災について学ぶ機会を提供しました。

日 時	2023年6月19日(月) 13:00～16:30
会 場	佐賀広域消防局
対 象	佐賀ランゲージセンター 留学生
参 加 者	35名
協力機関	佐賀広域消防局、佐賀ランゲージセンター

